

文部科学大臣 殿

〔設置者の名称〕 学校法人札幌国際大学

〔代表者の役職〕 理事長 〔代表者の氏名〕 上野 八郎

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	札幌国際大学短期大学部
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・ 短期大学 高等専門学校・専門学校)
大学等の所在地	札幌市清田区清田 4 条 1 丁目 4-1
学長又は校長の氏名	平野 良明
設置者の名称	学校法人札幌国際大学
設置者の主たる事務所の所在地	札幌市清田区清田 4 条 1 丁目 4-1
設置者の代表者の氏名	上野 八郎
申請書を公表する予定のホームページアドレス	http://www.siu.ac.jp/01sougou/information/9297.html#13

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

 更新確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	経営企画室課長 設楽 卓志	011-881-8844	t-shidara@ad.siu.ac.jp
第2号の1	教務課長 堀 健介	011-881-8844	hori@ad.siu.ac.jp
第2号の2	経営企画室課長 設楽 卓志	011-881-8844	t-shidara@ad.siu.ac.jp
第2号の3	教務課長 堀 健介	011-881-8844	hori@ad.siu.ac.jp
第2号の4	教務課長 堀 健介	011-881-8844	hori@ad.siu.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事(役員)名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定

める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	札幌国際大学短期大学部
設置者名	学校法人札幌国際大学

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	2,077,780,731円	3,149,403,769円	▲1,071,623,038円
申請2年度前の決算	1,980,157,382円	2,776,024,701円	▲795,867,319円
申請3年度前の決算	1,957,866,591円	2,466,048,702円	▲508,182,111円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	13,506,243,386円	113,767,952円	13,392,475,434円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	380人	283人	74%
前年度	380人	305人	80%
前々年度	380人	334人	87%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	札幌国際大学短期大学部
設置者名	学校法人 札幌国際大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
—	総合生活キャリア学科	夜・通信			18		7	
	幼児教育保育学科	夜・通信			15		7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>https://www2.siu.ac.jp/syllabus/syllabus 抽出方法：[大短区分]→「短大」を選択 [入学年度]→「2020年度」又は「2019年度」を選択 [学部・学科]→上記学科を選択 [フリーワード]→「実務経験のある教員」を入力</p>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	札幌国際大学短期大学部
設置者名	学校法人札幌国際大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>本学ホームページにおいて公表 http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2011/12/b8634956eb9630e2c5b984440883b3c4-1.pdf</p>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(現職) 株式会社役員	令和2年 4月1日～ 令和4年 3月31日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	(前職) 国家公務員	令和2年 4月1日～ 令和4年 3月31日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	(現職) 大学名誉教授	令和2年 4月1日～ 令和4年 3月31日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌国際大学短期大学部
設置者名	学校法人 札幌国際大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教員に対して次年度担当授業科目のお知らせをする際に、当該授業科目のシラバス原稿の作成依頼をあわせて行っている。シラバスの記載項目は、「講義の目的及び概要」「講義方法(当該担当教員の実務経験の有無を含む)」「授業計画」「到達目標」「成績評価基準と方法」「テキスト・参考文献」「事前事後学修」等について記載することとし、各項目の記載内容及び記載例をシラバス作成要領で示している。</p> <p>シラバスは、Web上で入力可能なシステムが構築されており、教員はWeb上に表示される次年度担当授業科目一覧から選択し入力していく。</p> <p>入力締め切り後、「シラバスチェック実施要領」で定められたチェックの観点に基づいて、各学科等の教務部員が内容の確認を行う。チェックの結果、明らかに基準に合致していないと判断される場合には、当該教員にフィードバックし修正を求める。なお、シラバスの作成についてはすべての学科で同様に進められ、当該年度の4月1日にWeb公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www2.siu.ac.jp/syllabus/syllabus
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は定期試験だけではなく、授業内の小テスト・発表・レポート・課題への取り組み状況など複数の項目の合計得点によって決定している。科目担当者はこれらの配点をシラバスに明記するとともに、各項目の得点を記した資料を単位成績認定時に提出し、成績の算出根拠を明示するなど厳密な成績評価を実施している。成績評価の基準は科目ごとにシラバスで示されており、『Study Guide』に明記されている次の2つの原則に則ったものとなっている。</p> <p>1) 科目の単位は、実施された全ての回の授業についての学習と、事前事後の自己学習に対して認められる。</p> <p>2) 病気などによりやむを得ず欠席したとしても、学習内容の理解と習得には3分の2以上の出席が必要である。</p> <p>なお、成績評価の基準はすべての学科で同様に取り扱っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学習を効果的に進め、その質を高めるためにG P A制度を全学科で統一的に導入している。学生の成績評価を数値化することで、客観的に学習結果をモニターすることができる。 G P Aは科目毎の成績評価に対して0.0点(不可)、1.0点(可)、2.0点(良)、3.0点(優)、4.0点(優+)のグレードポイントをつけ、1単位当たりの平均成績評価点を算出する。 また、G P Aの算出方法については『Study Guide』に明記して学生に周知している。さらに、各学期末にG P Aが記載された個人成績表を保護者に送付する際、G P A制度についての説明を付し周知を図っている。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>『Study Guide』 p.19～20 に記載 http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2011/06/2020_SIJC-1.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 札幌国際大学短期大学部は建学の精神に則り、実際的な専門教育と職業教育を施すとともに、教養に関する広い知識を授け、人格を磨き、生活および社会に貢献して文化の向上に寄与する良き社会人を育成することを目的としており、所定の期間在学し、学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い短期大学士の学位を授与する。 ①真理を探究し、自由を愛し、自らを省みる姿勢を身に付けている。 ②一般教養に関する広い教養を身に付けている。 ③自立して生きていくための社会人基礎力を身に付けている。 ④自立して生きていくための、専門知識、技能を身に付けている。 ⑤大学生活における諸活動を通じて、自主、自律、協同の精神を身に付けている。 さらに学科ごとに卒業認定・学位授与の方針を定めホームページに掲載している。 卒業の要件は『Study Guide』に明示し、教務部及び教授会で厳格な卒業判定を実施している。卒業の要件は次の3つである。 1) 2年以上在学すること。ただし、休学等による学修中断の期間は、この在学期間に含まれない。また、在学可能期間は、休学期間を除き4年間が限度である。 2) 学則に定められた各学科の教育課程および履修方法によって62単位以上を修得すること。 3) 定められた授業料を完納すること</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>卒業認定・学位授与の方針： http://www.siu.ac.jp/01sougou/policy_b/87.html 卒業要件：『Study Guide』 p.11 に記載</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	札幌国際大学短期大学部
設置者名	学校法人札幌国際大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2011/12/eed30de06e702d5fcf70847baa59bfbe.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2011/12/eed30de06e702d5fcf70847baa59bfbe.pdf
財産目録	http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2011/12/eed30de06e702d5fcf70847baa59bfbe.pdf
事業報告書	http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2011/12/86d9c4f9cb1455fedd1e30a548d728bb.pdf
監事による監査報告(書)	http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2011/12/eed30de06e702d5fcf70847baa59bfbe.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/H28tandaijikotenken.pdf
--

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法：
http://www.jaca.or.jp/assets/files/2-1_jigyo/6_kekka/h25/1_h25_sapporokokusai.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 札幌国際大学短期大学部
教育研究上の目的 (公表方法: 公表方法: ホームページ、 http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2018/09/3178558b1d6da16a3eea516e467157b3.pdf)
(概要) 総合生活キャリア学科 自立した職業人を養成するため、現代生活を主体的に創造する知識と技術を身に付けるとともに、自ら課題を見つけ解決する、多様な場で活躍できる実務能力を持った人材を育成する。 幼児教育保育学科 現代の保育に必要な理論や技術を身に付け、共感的な感性と知性に支えられた、人間性豊かな保育者を養成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 公表方法: ホームページ、キャンパスガイド、入試要項 http://www.siu.ac.jp/01sougou/policy_b/87.html)
(概要) 札幌国際大学短期大学部は建学の精神に則り、実践的な専門教育と職業教育を施すとともに、教養に関する広い知識を授け、人格を磨き、生活および社会に貢献して文化の向上に寄与する良き社会人を育成することを目的としており、所定の期間在学し、学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い短期大学士の学位を授与する。 ①真理を探究し、自由を愛し、自らを省みる姿勢を身に付けている。 ②一般教養に関する広い教養を身に付けている。 ③自立して生きていくための社会人基礎力を身に付けている。 ④自立して生きていくための、専門知識、技能を身に付けている。 ⑤大学生活における諸活動を通じて、自主、自律、協同の精神を身に付けている。
総合生活キャリア学科 自立した職業人を養成するため、現代生活を主体的に創造する知識と技術を身に付けるとともに、自ら課題を見つけ解決する、多様な場で活躍できる実務能力を持った人材を育成することを目的としており、所定の期間在学し、学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い短期大学士の学位を授与する。 ①生活創造と就業に必要な基礎的知識、技能およびそれを基にした専門知識、技能を修得した学生 ②広い視野と社会人としての教養を持ち、自らの職業生活・社会生活のあり方を設計できる学生 ③多様な人々と協働するためのコミュニケーション能力および課題を発見し解決する能力を身に付け北海道に貢献できる学生
幼児教育保育学科

現代の保育に必要な理論や技術を身に付け、共感的な感性と知性に支えられた、人間性豊かな保育者を養成することを目的としており、所定の期間在学し、学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い短期大学士の学位を授与する。

- ①子どもの安全を守るための適切な配慮ができる学生
- ②子どもの発達段階にあった保育ができる知識と技術を身に付けている学生
- ③子どもの健やかな育ちのために、必要な保護者支援ができる学生
- ④保育者の社会的な使命を自覚し、責任ある行動をとることができる学生
- ⑤保育者に求められる態度・姿勢と、社会人に必要な教養を身に付けている学生
- ⑥地域の国際化をふまえ、価値観の多様化を理解し、差別のない多文化共生の態度を身に付けている学生

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ、キャンパスガイド、入試要項、<http://www.siu.ac.jp/01sougou/95.html>）

（概要）

札幌国際大学短期大学部は建学の精神に則り、実際的な専門教育と職業教育を施すとともに、教養に関する広い知識を受け、人格を磨き、生活および社会に貢献して文化の向上に寄与する良き社会人を育成することを目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき設定する。

- ①高大接続の観点から、短大教育への円滑な移行を促すために、各学科に初年次教育科目を設定し、組織的な初年次教育の充実を図る。
- ②建学の礎(自由・自立・自省の精神)による人間形成を重んじ、学科の教育目的に応じて自主、自律、協同の精神修得のための科目を設定する。
- ③実際的な専門教育と職業教育を目的として、各専門分野の知識、技能修得のための科目を設定する。
- ④生活・社会・文化への貢献のために、学科の教育目的に応じて、修得した知識、技能を用いて諸課題の解決に資する科目を設定する。
- ⑤演習、実習、インターンシップ等を通じた実践的・体験的な学びを重視し、能動的・自主的な学修の充実を図る。
- ⑥キャリア形成の観点から、社会人基礎力修得のためのキャリア科目を設定し、社会的・職業的自立に必要な能力・態度を育む。
- ⑦成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

総合生活キャリア学科

自立した職業人を養成するため、現代生活を主体的に創造する知識と技術を身に付けるとともに、自ら課題を見つけ解決する、多様な場で活躍できる実務能力を持った人材を育成しており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき設定する。

- ①高大接続の観点から、短大教育への円滑な移行を促すため、初年次教育の充実を図る。
- ②建学の礎(自由・自立・自省の精神)による人間形成を重んじ、学科の教育目的に応じて自主、自律、協同の精神修得のための科目を設定する。
- ③質保証の基礎固めのため学科スタンダードを設定し、1年次の早期に、必修教養科目で基礎知識や技能を身につける。
- ④学科教育の2本柱を明確化するため4セメスターにわたり、生活・キャリア科目を配置し、教養教育の中心軸とする。
- ⑤体験を通して学習させるアクティブラーニング（フィールドワーク、インターンシップ、教室内PBL、課題解決演習等）を通して、生活とキャリアについて学習する。記憶して覚える学習ではなく、体験と経験を通して気づき、定着する深い学びを設定する。
- ⑥教養科目群に3つのコースユニットを設定し、コースの学びの方向性を意識する。コー

スの特色を明確にし、多様な学びの中に一つ芯を通す。

⑦成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

幼児教育保育学科

現代の保育に必要な理論や技術を身に付け、共感的な感性と知性に支えられた、人間性豊かな保育者を養成することを目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき設定する。

①高大接続の観点から、短大教育への円滑な移行を促すため、初年次教育の充実を図る。

②2年間の学修により保育者として必要な基礎力を身に付けることを目的として、子どもの健やかな成長を支えるための科目、子どもへの教育をおこなうための科目、保護者を支援するための科目、社会人として必要な教養を身に付けるための科目を設定する。

③本学科の教育を特徴づけるため、学びの土台を育てる「子どもの遊び演習」、「ことばの力」や、学生の興味・関心をさらに高める「保育プロジェクト演習」、「表現課題演習（基礎）」などを設定する。

④理論、演習、実習のそれぞれの科目を適切に配置し有機的に連関させることを目的として、自分が学んでいる科目がどのような意味をもち、どのような到達目標があるのかを自覚できる「カリキュラム・ステップ」を設定し、科目を配置する。

ステップ0「学びへの期待を高める」

ステップ1「保育という仕事を知る」

ステップ2「子どもを知る」

ステップ3「保育の方法を知る」

ステップ4「保育者支援を知る」

ステップ5「保育者としての仕上げをする」

⑤演習、実習、インターンシップ等を通じた実践的・体験的な学びを重視し、能動的・自主的な学修の充実を図る。

⑥キャリア形成の観点から、キャリア科目を体系的に設定し、社会的・職業的自立に必要な能力・態度を育む。

⑦成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

⑧地域社会の多文化化、国際化に対応し、様々な背景をもった人々との交流を図れるようにするため、英語力、コミュニケーション能力、多文化理解を促す科目を設定する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：公表方法：ホームページ、キャンパスガイド、入試要項、<http://www.siu.ac.jp/01sougou/102.html>）

（概要）

札幌国際大学短期大学部は建学の精神に則り、実際的な専門教育と職業教育を施すとともに、教養に関する広い知識を授け、人格を磨き、生活および社会に貢献して文化の向上に寄与する良き社会人を育成することを目的としている。

【求める学生像】

札幌国際大学短期大学部は、上記のような人材を育成するため、本学の目的に賛同し、各学科の教育に関心を持つ人、本学の体系的・実践的なカリキュラムの下、幅広い教養、専門職業人としての知識、技能、論理的思考力、コミュニケーション能力、課題探求力・解決力、表現力を身に付け、生活・文化の向上および地域社会の発展に貢献することのできる人を受け入れる。

なお、本学への入学を希望する人は、高等学校の教育課程等において次に示す能力を身に付けていることを求める。

①高等学校の教育課程等で学んだ知識、技能。特に資料を読み解き、考えを表現し、他者

との円滑なコミュニケーションを図るために、国語の基礎的能力を要する。また国際化が進展する社会への対応に鑑み、英語の基礎的能力も要する。

②高等学校の教育課程等で学んだ豊かな心、他者を尊重する社会性

③高等学校の教育課程等で学んだ協同する心と探究心

総合生活キャリア学科

自立した職業人を養成するため、現代生活を主体的に創造する知識と技術を身に付けるとともに、自ら課題を見つけ解決する、多様な場で活躍できる実務能力を持った人材を育成することを目的としている。

【求める学生像】

本学科は、上記のような人材を育成するため、本学科の目的に賛同し、本学科の教育に関心を持つ、以下のような人を受け入れる。

①自立した職業人を目指し、職業知識と実務能力を身につける意欲のある人

②現代生活において、自由で主体的に生きるための豊かな知識と教養を身につける意欲のある人

③国際化する社会で自己を豊かに表現し地域と積極的にかかわる意欲のある人

④本学科の体系的・実践的なカリキュラムに基づく実際の専門教育と職業教育の下、幅広い教養、専門的知識、技能、論理的思考力、コミュニケーション能力、創造力、課題探求力・解決力を身に付け、多様な人々と協働し、自立した専門職業人として生活・文化の向上および地域社会の発展に貢献することのできる人

なお、本学科への入学を希望する人は、高等学校の教育課程等において、次のような姿勢、能力を身に付けていることを求める。

①学科の教育に適応できる基礎学力

特に資料を読み解き、考えを表現し、他者との円滑なコミュニケーションを図るために、国語の基礎的能力を要する。また、国際化への対応ができる人材を育成することを目的としているため、英語の基礎的能力も要する。

②働く意欲を持ち、卒業後は就職をしようという姿勢を身に付けている人

③何かに挑戦し、取り組んだ経験がある人(スポーツ、音楽、生徒会、委員、英検・情報・商業等の資格取得)

幼児教育保育学科

現代の保育に必要な理論や技術を身に付け、共感的な感性と知性に支えられた、人間性豊かな保育者を養成することを目的としている。

【求める学生像】

本学科は、上記のような人材を育成するため、本学科の目的に賛同し、本学科の教育に関心を持つ、以下のような人を受け入れる。

①保育者としての社会的意義を理解し、子どもへの保育や保護者への支援を積極的に学びたいと強く望む人

②保育者として求められる知識や技能を、自らの努力および仲間との協同を通して身に付けていこうとする人

③保育には、子どもの生命の安全を守るという側面と、子どもの育ちを促すという側面がある。それらを学ぶ力が備わっている人

④保育の現場では保育者同士の協力が必要であり、良き保育者となるために、仲間と一緒に学び合っていくことができる人

⑤保育者としての責任と使命を知り、よりよい保育者を目指して自らの人間性や資質・能力を高め続けることができる人

⑥子どもの健やかな育ちを支えるために向上心を持ち、常に学び続ける意欲がある人

⑦本学科の幼児教育保育に関する体系的・実践的なカリキュラムの下、身に付けた幅広い

教養、専門的知識、技能、論理的思考力、コミュニケーション能力、表現力を生かし、幼児教育保育分野における課題を主体的に探求し、地域社会に貢献することのできる人
 ⑧国際化が進む中で、自らのものと異なる文化や価値観を理解し、差別のない多文化共生を実現できる人

なお、本学科への入学を希望する人は、高等学校の教育課程等において、次のような姿勢、能力を身に付けていることを求める。

- ①学科の教育に適応できる基礎学力
 特に資料を読み解き、考えを表現し、他者との円滑なコミュニケーションを図るために、国語の基礎的能力を要する。また、保育分野において英語力が必要とされているため英語の基礎的能力も要する。
- ②部活動等を通じて得られた協同する姿勢
- ③ボランティア活動等を通じて得られた社会貢献への姿勢
- ④現代社会における保育の動きに目を向ける姿勢

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：
<http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2020/06/e536f21b11aff5dbc5b149ed917017ca.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
総合生活キャリア学科	—	2人	3人	1人	0人	0人	6人
幼児教育保育学科	—	4人	7人	2人	0人	0人	13人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		45人					45人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページによる公表 http://www.siu.ac.jp/01sougou/kyouin/5438.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
建学の礎、教育の基本的考え方及び学科等の教育目標に基づいて行う教育改善・向上に係る活動を支援するために、FD委員会を設置し、年間3～4回のFDを開催している。2019年度の開催状況は以下のとおりである。							
①本年度プレースメントテスト分析結果を踏まえ、各自の授業改善に資する							
②「北海道における教員育成指標」「教員採用候補者選考検査」等について理解を深める							
③能動的学習の技法について							
④UNIVAS（大学スポーツ協会）研修会							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
総合生活キャリア学科	50人	62人	124%	100人	110人	110%	-人	-人
幼児教育保育学科	140人	81人	58%	280人	173人	62%	-人	-人
合計	190人	143人	75%	380人	283人	75%	-人	-人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
総合生活キャリア学科	56人 (100%)	2人 (3.6%)	46人 (82.1%)	8人 (14.3%)
幼児教育保育学科	103人 (100%)	1人 (1.0%)	97人 (94.1%)	5人 (4.9%)
合計	159人 (100%)	3人 (1.9%)	143人 (90.0%)	13人 (8.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
進学先：札幌国際大学観光学部				
就職先：北海道信用保証協会、㈱北洋銀行、北海道信用金庫、㈱キャスト、日産プリンス札幌販売㈱、アイングループ、㈱サンドラッグプラス				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
総合生活キャリア学科	59人 (100%)	55人 (93%)	3人 (5%)	1人 (2%)	(%)
幼児教育保育学科	104人 (100%)	102人 (98%)	1人 (1%)	1人 (1%)	(%)
合計	163人 (100%)	157人 (96%)	4人 (3%)	2人 (1%)	(%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>教員に対して次年度担当授業科目のお知らせをする際に、当該授業科目のシラバス原稿の作成依頼をあわせて行っている。シラバスの記載項目は、「講義の目的及び概要」「講義方法（当該担当教員の実務経験の有無を含む）」「授業計画」「到達目標」「成績評価基準と方法」「テキスト・参考文献」「事前事後学修」等について記載することとし、各項目の記載内容及び記載例をシラバス作成要領で示している。</p> <p>シラバスは、Web上で入力可能なシステムが構築されており、教員はWeb上に表示される次年度担当授業科目一覧から選択し入力していく。</p> <p>入力締め切り後、「シラバスチェック実施要領」で定められたチェックの観点に基づいて、各学科等の教務部員が内容の確認を行う。チェックの結果、明らかに基準に合致していないと判断される場合には、当該教員にフィードバックし修正を求める。</p> <p>なお、シラバスの作成についてはすべての学科で同様に進められ、当該年度の4月1日にWeb公開している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>成績評価は定期試験だけではなく、授業内の小テスト・発表・レポート・課題への取り組み状況など複数の項目の合計得点によって決定している。科目担当者はこれらの配点をシラバスに明記するとともに、各項目の得点を記した資料を「単位成績認定書」に添付して提出し、成績の算出根拠を明示するなど厳密な成績評価を実施している。成績評価の基準は科目ごとにシラバスで示されており、『Study Guide』に明記されている次の2つの原則に則ったものとなっている。</p> <p>1) 科目の単位は、実施された全ての回の授業についての学習と、事前事後の自己学習に対して認められる。</p> <p>2) 病気などによりやむを得ず欠席したとしても、学習内容の理解と習得には3分の2以上の出席が必要である。</p> <p>また、学習を効果的に進め、その質を高めるためにGPA制度を全学科で統一的に導入している。学生の成績評価を数値化することで、客観的に学習結果をモニターすることができる。</p> <p>GPAは科目毎の成績評価に対して0.0点（不可）、1.0点（可）、2.0点（良）、3.0点（優）、4.0点（優+）のグレードポイントをつけ、1単位当たりの平均成績評価点を算出する。</p> <p>また、GPAの算出方法については『Study Guide』に明記して学生に周知するとともに、各学期末にはGPAが記載された個人成績表を保護者に送付する際、GPA制度について明示している。</p> <p>なお、CAP制度を採用しており、年間の履修上限単位数は48単位である。</p>

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
—	総合生活キャリア学科	62単位	有・無	年間48単位
	幼児教育保育学科	62単位	有・無	年間48単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： http://www.siu.ac.jp/wp-content/uploads/2020/06/45578ece6e65c8a36661d383335a0ba3-1.pdf
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
—	総合生活 キャリア 学科	1年次 765,000円	230000円	162,250円	施設費、教育充実費、学友会費、後援会費、学生研修費、学研災保険料
		2年次 795,000円	—	207,000円	施設費、教育充実費、後援会費、学友会費、同窓会費
—	幼児教育 保育学科	1年次 835,000円	230,000円	172,250円	施設費、教育充実費、学友会費、後援会費、学生研修費、学研災保険料
		2年次 845,000円	—	217,000円	施設費、教育充実費、後援会費、学友会費、同窓会費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 全学的な学習支援施策の企画及び実施、並びに教育活動の継続的な改善の推進及び支援により、教育の質保証及びその一層の向上を図るために修学指導室を設置している。修学指導室が備える主な機能は以下の通り。 ・パソコン貸出：学内で利用できるタブレットPCの貸し出し運用管理 ・学修相談：大学の学修に関わる質問の受け付け ・個別学習スペース：一人ひとりに分かれた個別学習スペースの設置 ・共同学習スペース：6人掛けテーブル、ホワイトボードを備えたグループワークスペース ・ラウンジ：飲食、私語可能な、友人と語らいながら学習のできるスペース ・教育支援センター文庫：センターが推薦する学術入門書、参考書を整備
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) 本学は「建学の礎」に基づいて「自由・自立・自省」の精神を備えた有為な人材を育成することを目標とし、そのための教育課程と学習環境を提供している。具体的には以下の通り。 1. コミュニケーション能力の育成 社会生活上のエチケットを守り、あらゆる場面で、さまざまな人と言葉やそのほかの方法で深くコミュニケーションを図る能力を育成する。 (1) マナー講座の実施 (2) ゲスト講演会の開催 (3) 日本語・数学・英語プレイスメントテストの実施とフォロー (4) 話す力、聴く力、自分をアピールする力を高める学習の支援 2. 学生の自立支援 学生の自立と、一人ひとりが達成感のある学生生活を送るための支援をする。 (1) 個人面談の実施 (2) 学生個々に合わせた求人情報の提供 (3) 最新の就職情報・就職活動情報の提供 3. 1年次からの進学・就職支援

学生が将来の活躍の場を考え、一人ひとりが自分のキャリアデザインをイメージできるように、段階的なプログラムや資料、情報を提供する。

- (1) アドバイザー教員との面談
- (2) 就職ガイダンス・講演会の開催
- (3) 就職適性テストの実施
- (4) 業界研究セミナーの開催
- (5) 合同企業説明会の開催
- (6) 資格取得講座の開催
- (7) 関連科目への協力（資料提供、出前講義、講師派遣など）
- (8) 全国大学実務教育協会認定資格取得の奨励

4. キャリア支援センター

「キャリア支援センター」は、就職・進学活動に取り組む学生をさまざまな面からサポート。進路についての相談や就職に関するアドバイス、専門スタッフによる面接や履歴書の書き方の指導なども行っている。

各業界とのネットワークも幅広く、企業や就職に関する情報を豊富に蓄積。就職や進学、キャリアアップについて、最大限の支援をしていく。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

学生の心身両面の健康増進及び修学支援の充実を図り、質の高い教育環境の保証及びその一層の向上に資するため、心理相談部門である「学生相談室」、健康支援部門である「保健室」及び修学支援部門である「学生サポートルーム」の3部門を統括する学生サポートセンターを設置している。

・学生相談室では、専門のカウンセラーが学生生活を送るうえで出会う様々な問題や悩みを聴きより良い解決方法を共に考える場を提供している。

・保健室では、急病やケガなど日常の応急手当はもちろん、その他の健康に関することの相談に応じている。

・学生サポートルームは、面談室やフリースペース、個別学習室、セミナールームなどを備え、障がいを抱える学生や困りごと、心配事のある学生の修学支援（合理的配慮）、日常にかかる様々な悩みについて、福祉の国家資格を持つキャンパス・ソーシャルワーカーが相談に応じている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.siu.ac.jp/01sougou/information/9297.html>